

3 小学校低学年用「みんないきている」 指導例

本資料では、動物と触れ合うことなどを通して「命の大切さ」を学ぶ教育の場となるよう整備・開園された「うだ・アニマルパーク」を取り上げている。動物を見たり触ったりして気付いたり感じたりする「^{あかし}生きている証」を描いており、それらをきっかけに生命の存在を実感し、生命を大切にする態度を養うことをねらいとしている。

校外学習等で児童が同園を訪問している学校では、本資料を基に体験を振り返って話し合うことで、動物などの生命の存在を児童が実感できることであろう。同園を訪問していない児童においても、生活科や日常生活で動物などを見たり触ったりした経験を振り返って話し合わせ、生命を大切にする態度を養いたい。

- ◆ **主題名** 生きている証 指導内容 低3－(1)
- 資料名** みんないきている (奈良県郷土資料 県教育委員会)

◆ ねらい

動物を見たり触ったりして気付いたことや感じたことなどを振り返り、話し合うことを通して、自分たちも生きていることを実感し、生きていることを喜び、生命を大切にする態度を養う。

	学 習 活 動	主な発問と予想される児童の意識	指導上の留意点	備考
導 入	1、動物を見たり触ったりした体験を出し合う。	○ 動物を見たり触ったりしたことはありますか。 ・幼稚園でウサギにえさをやったよ。 ・うだ・アニマルパークで触ったよ。	・自由に話し合わせ、資料への興味・関心を喚起することがねらいであり、ここではあまり体験した内容について深く追求する必要はない。	
展 開	2、資料「みんないきている」を読んで話し合う。	○ ウサギを見たり触ったりしたときに感じたことはありますか。ヒツジやヤギ、ウシはどうですか。 ・ウサギの毛はやわらかくてとても気持ちよかったね。 ・ほねがあって固かった。ぐりぐりと動いていたよ。 ・ウシが急にブシューって息をしたからびっくりした。 ○ 生きている証拠とはどんなことでしょうか。	・うだ・アニマルパークに実際に行ったことがあるなら、その時の経験を振り返ることができるように写真等の資料を準備しておく。 ・資料の内容をきっかけにして、同様の経験をしたことがあるか、そのほかに感じたことはあるかなど、自由に話し合えるようにする。 ・広い視点から考えられるように、見て分かること、音	うだ・アニマルパークの写真

展 開	3、自分を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・心臓がドクドクと動いていること。 ・息をしていること。 ・動いていて、触ると温かいこと。 <p>○ いろいろな生き物の生きている証拠を見付けたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うちのイヌは帰ったとき、とびついてくる。 ・動かないカブトムシの足がモゾモゾと動いたとき、生きてると分かった。 ・草も伸びるから生きているのかな。 <p>◎ あなたの生きている証拠はどんなことでしょうか。友達の生きている証拠も見付けてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごはんがおいしい。 ・けがをしたときに血が出たよ。痛かったな。 ・友達の心臓が動いている。汗もかいているよ。 	<p>で分かること、において分かること、触って分かることなどの視点を示すこともできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活経験を振り返らせ、昆虫や植物などについても広く考えられるようにする。 	
	4、指導者の話を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物がおいしいことや友達と楽しく遊んだことなどを振り返らせ、生きていることの喜びを実感できるようにする。 ・ワークシートに書き込むことを通して、じっくりと考えさせる。また、近くの児童同士で話し合う、手をつないでみる、互いの心臓の鼓動を感じさせるなどの活動を行うこともできる。 	ワークシート
終 末			<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活で見られる児童の姿や指導者自身の体験談を話すなど、生命を大切にしようとする態度を養うよう余韻を残して学習を終えたい。「こころのノート 小学校1・2年」55～59ページを活用することもできる。 	「こころのノート」

※「心のノート」は、次のURLよりダウンロードできます。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doutoku/index.htm